日中医療連携　COVID-19に関するオンライン意見交換会開催報告

Medical Excellence JAPAN

【背景】

COVID-19の感染拡大に伴う日本でのマスク等医療物資の供給不足の中、中国のアリババ公益基金会並びに馬雲公益基金会の会長のジャック・マー氏から、日ごろ中国からの渡航受診者の受入れを行っているJIH推奨病院の一助となればと一般社団法人 日本医療国際化機構を通して、マスクや防護服を寄贈いただきました。

また、同氏は、中国の医療機関および各国の専門家たちとCOVID-19に関する知識や経験の共有、コミュニケーションの場として中国の医療機関等からなるプラットフォーム GMCC（Global MediXchange for Combating COVID-19）を立ち上げ、そのメンバーである浙江大学医学院附属第一病院での治療経験から「新型コロナウイルス感染対策ハンドブック」をまとめました。同ハンドブックはJIH推奨病院にも共有されています。

そのような背景から、日本からも医療技術や情報を共有し、対等な日中の医療交流、連携に貢献したいと考え、ハンドブックの編集長でもある浙江大学医学院附属病院の梁廷波教授を中心とするGMCCメンバーとのCOVID-19に関するオンライン意見交換会を企画・実施いたしました。

【開催日時】

2020年5月29日（金）14:40-17:00（日本時間）
※日本と中国をオンラインで繋ぎました。

【発表者（発表順）】

梁　廷波　浙江大学医学部付属第一病院 共産党書記、教授
行岡哲男（モデレーター）MEJ理事
井上貴昭　筑波大学 医学医療系 教授
田中　裕　順天堂大学 医学部 教授
熊川靖章　順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 医師

他、JIH推奨病院およびMEJフォーラム会員医療機関の医師、職員の方々およびMEJ企業会員から70名ほどの参加があり、本会をネット中継したところ、日中両国から最終的に2,400を超えるアクセスがありました。

【概要】

意見交換会に先立ち、二階俊博 自由民主党幹事長、ジャック・マー アリババ公益基金会会長、MEJ理事長の近藤達也の挨拶が行われました。

始めに、中国側である浙江大学医学部付属第一病院の梁教授より、同病院におけるCOVID-19の重篤患者の治療状況および成果について紹介がありました。

日本側はMEJ理事の行岡哲男が総合司会となり、筑波大学の井上教授から、日本の3学会が共同で設置したECMOnetのデータに基づいた重症患者のECMO管理の状況ついて、お話しいただきました。

続いて、順天堂大学の田中教授、順天堂大学医学部付属浦安病院の熊川医師からは、COVID-19重症患者の治療におけるECMO使用および回復症例についてご紹介いただきました。

その後、日本と中国側でお互いの治療経験について具体的な質疑応答、意見交換が行われました。

【冒頭挨拶要旨】

二階俊博 自由民主党幹事長：　両国の医療従事者へ感謝をしたい。困難な時に助け合う精神が日中に通じるところであり、それにより、困難を乗り越えることができる。

近藤達也 MEJ理事長： JIHにマスク寄贈いただいたことは、日本の医療活動への貢献に大きく寄与し、改めて感謝申し上げる。JIHは、日本各地の医療を支える病院となる。

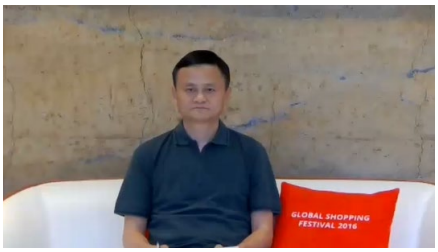
ジャック・マー アリババ公益基金会会長: 困難な経験を共にした、日中の友好関係は深まり、互いに世界中にいい成果を見せられた。直接会えなくても、オンラインでの交流により重要な情報をシェアし、相互協力することがCOVID-19収束のためには重要。

二階俊博 幹事長　ご挨拶

【発表要旨】

中国側発表：

浙江大学医学部付属第一病院における重症患者への治療について発表。
同院での「4つの集中」戦略モデルの紹介（浙江省内の重篤患者の95%を集中、専門家の集中、資源の集中、本治療への業務集中）、COVID-19重症患者への治療（ECMO使用11例、肺移植2例などを含む）が紹介されました。



ジャック・マー 会長　ご挨拶

日本側発表：

筑波大学 井上教授：COVID-19重症例に対する人工呼吸管理では諸外国と比較し、高い救命率を維持できていることや、 ECNOnetへの登録163例で70%以上の救命を達成したことが紹介されました。今後の課題（集中治療の標準化、ECMO等機器や防護服などの確保、医療スタッフ・チームのさらなる養成等）についても情報共有がなされました。

順天堂大学医学部付属浦安病院 熊川医師：同院でのECMO使用症例（67歳男性患者　意識障害等有）について発表が行われました。実際の胸部CT、レントゲンの写真で変化を示しつつ、 ECMOを導入し、呼吸器離脱までの投薬を含む経過をご紹介いただきました。

井上貴昭 教授　ご講演

©2020 Medical Excellence JAPAN